

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標：発見し、はくくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像：よりよい未来を共に創り出す人間

第2号 2023年12月7日(木)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

『学ぶことの意味』について

山口大学教育学部附属山口小学校 校長 吉 鶴 修

10年くらい前だったでしょうか、「風をつかまえた少年」という本を読みました。今から約40年前、アフリカ大陸のマラウイ共和国にカムクワンバという名の少年が両親と妹の4人で暮らしていました。この国は電力の普及率が2%しかなく、少年の住む村も高価な電気を引くことができず、夜は暗闇の世界でした。水をくみ上げるポンプもなく、何時間もかけて水くみに出かけるのは子どもたちの仕事でした。ある年、この国は大干ばつに見舞われました。国中から食べ物がなくなって、飢えや病気で数千人の人が亡くなりました。少年は通っていた中学校をやめなければならなくなりました。しかし、少年は中学校に行けなくても、図書館で本を借りて読みました。そして、運命的な本と出会い、「自分で風力発電の仕組みを作って家に電気を通そう」と考えました。少年は廃材を集め、トラクターのファンを外して風車の羽根にしました。そして、アルバイトで動力となる自転車を買って、発電機を作りました。難しい風力発電の仕組みも本を読んで独学で学びました。苦勞のあげく、少年は約3ヶ月で高さ5メートルの風力発電用の風車の建設に成功したのです。それから7年間で、5台もの風車を村に設置し、村の人々は電力を得られるようになりました。

わたくしは、この本を読んだ後に、『学ぶことの意味』について考えました。「テストでよい点を取るため」「高校や大学に入るため」でしょうか。この少年は「暗闇から抜け出したい」「電気を通して、家族や村の人たちに喜んでもらいたい」、そのために困難を乗り越えて、手作りの風車を完成させました。少年には学ぶことの切実な意味があったのです。VUCAの時代と言われる予測困難な時代を生きる子どもたちにとって、『学ぶことの意味』とは何でしょうか。

瀬戸内寂聴さんは、『生きることは愛すること』というご自身の著者の中で「勉強というのは、自分の可能性を発見することです」と言っておられます。教員の立場で言えば「教育というのは、子どもの潜在能力を顕在化することです」と言えるかもしれません。

「やまぐち学園」では、本年度から「自ら学びをつなぐ子どもの育成」を研究主題として取り組んでいます。カムクワンバ少年のように自らの可能性(能力)を発見し、次の学びや自らの生活につなごうとする子どもを育てたいのです。

【附属幼稚園】

11月16日(木)に幼小中一貫教育保育・授業づくり研修会の保育部会を開催しました。幼小連携に関心のある方も多く、公開保育には幼稚園教諭のみならず小学校教諭を含め、総勢90名の方々に参加していただきました。子どもたちは、園庭や園外の世界の森公園で集めた秋の自然物を使ってドングリ転がしをしたり、アイドルの踊りやお店屋さんごっこをしてお客さんとのやり取りを楽しんだりしていました。ご参会の先生方からいただいたご意見を今後の保育にも活かしていきたいと思えます。11月28日(火)には豚汁づくりをしました。大学農場で栽培・収穫した特大のハクサイとダイコンに加え、山口道場門前商店街にニンジン、ゴボウ、豚肉を買って行き、豚汁づくりに期待十分の年長児。慎重に野菜を切ったり火を起こしたりして、とても美味しい豚汁が完成しました。年少児や年中児にも振舞って喜んでもらい、年長児としての自信も高まった一日でした。



参会の先生方を招きながら
お店屋さんごっこを楽しみました



保育を振り返り、学びの
つながりについて協議を
深めました



自分達で野菜を切ったり火を起こし
たりして美味しい豚汁をつくりました



〔附属山口小学校〕

10月24日、11月16・21・22日の4日間にわたり、令和5年度やまぐち学園幼小中一貫教育保育・授業づくり研修会を開催しました。各教科部で「つなぐもの」を設定し、幼小中のつながりを意識して授業づくりを行いました。日頃の授業実践を通じた研究成果を十分に発信することができました。子どもたちは、多くの参会者の視線が集まる中、緊張に負けず、素敵な学びの姿を見せていました。



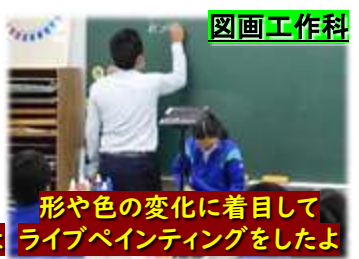
算数科
変化や対応に着目して
変わり方のきまりを見つけたよ



理科
電流の流れに着目して
電気の通り道を追究したよ



生活科
お客さんの視点を大切に秋
の自然を生かしたお店を開いたよ



図画工作科
形や色の変化に着目して
ライブペインティングをしたよ



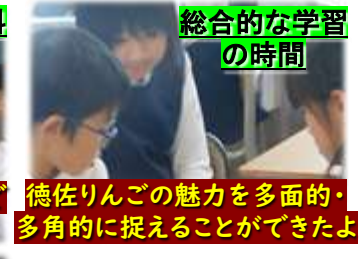
体育科
跳び方に着目して
跳の運動遊びをしたよ



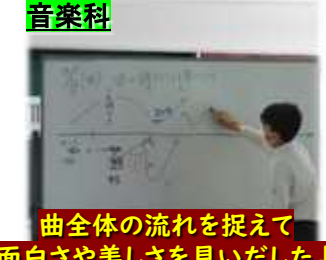
社会科
見方・考え方を総動員して
明治維新について学んだよ



外国語科
相手の状況に合わせた表現で
山口市の魅力を紹介したよ



**総合的な学習
の時間**
徳佐りんごの魅力を多面的・
多角的に捉えることができたよ



音楽科
曲全体の流れを捉えて
面白さや美しさを見いだしたよ



道徳科
様々な道徳的価値を関連付けて
登場人物の心を明らかにしたよ



国語科
叙述に着目して中心人物の
人物像を想像したよ

今回の研修会を糧に、やまぐち学園の教職員として、子どもたちの12年間の学びを見通しながら、日々の授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

〔附属山口中学校〕

10月31日(火) 山口市民会館で「奏造(そうぞう)」のスローガンのもと、音楽祭を開催しました。午前には弦楽合奏部と特設合唱団の演奏、各クラスの合唱コンクールを行いました。午後は各学年の合唱を披露し、最後に全校生徒で「あなたに」を会場いっぱいに響く歌声で合唱しました。コロナ禍が収束し、ようやく全校で集まって一日中音楽を楽しむ行事を開催でき、芸術の秋にふさわしい、有意義な一日となりました。



迫力と繊細さのある圧巻の演奏!



最優秀賞 3年A組「はじまり」



会場全員の合唱でフィナーレ!

11月19日(日) やまぐち学園の園児・児童・生徒で「白石フェスティバル」に参加しました。中学生4名、小学生20名がボランティアスタッフとして参加し、ブースでの売り子やテント・ステージ設営などで活躍しました。また、中学生は20分間のステージ発表を行い(執行部によるクイズ、2年生によるダンス)、園児と小学生は38名がジャンボリミッキーのダンスを踊って盛り上げました。附属やまぐち学園として、地域のイベントに参加・協力できる機会をいただき、感謝しています!



おそろいコーデでdance!



クイズで盛り上げました



**附中サッカー部21名も、
ボランティアで前日準備に参加**



ジャンボリミッキー♪

